

斜里町議会議員 4期目

桜井あけみ 議会レポート

No. 55

2020年 7月18日発行

みなさん こんにちは



7月になりました。

最近では、私の議会レポートは発行が遅くなっています。それは、この議会レポートよりも先に、全町民の皆さんにお届けする「議会だより」（議会広報）を作成しているからです。かつては、そのほとんどを事務局で作成されていました。私が議会に入った13年前は、自分の一般質問だけを書いて提出するだけでした。あとは、みんな事務局の方が作成されていました。

その後、議会広報特別委員会が、議会広報常任委員会になって、それでもほとんどの記事は事務局にお任せでした。

今は、違います。広報員会メンバーで何を重点的にお知らせするか？を協議し、それぞれの原稿を担当され、各議員の一般質問を含めて、編集作業を行います。校正作業を行って、印刷業者さんに入稿。そして斜里町広報に折り込まれ、皆さんの元に届きます。その、校正にかかる原稿がやっとできたので。

遅くなって、申し訳なく思います。

やっと、自分の議会レポート作成に取りかかれます。

さて、前回号でも書きましたが、2月末から始まった「コロナ感染」は、3月議会ではまだまだ先が見えず、その後 全国での緊急事態宣言と感染者の増加など、自粛を求められ、息を詰めるような3月。しかし、議会活動は止めずに、何度かの委員会や全員協議会の後で、5月1日には「招集会議」（以前の臨時議会）が開催され町の「コロナ対策事業」が決まり、6月定例会議で、さらに「コロナ対策事業」と補正予算が行われています。

今回は、そんな町の取り組みの内容や、それに対しての私の考え方や意見なども交えて「議会だより」とは違う、私自身の議員活動と考え方など交えて、皆さんに「議会レポート55号」を、お届けします。

どうぞ、読んでください。



アメリカオニアザミ

ヨーロッパ原産だそうです。イギリス王家の紋章にも使われているって聞きました。知床では外来植物として駆除されますが、花はきれい。でも、トゲは、それはそれは鋭くて痛いです。

まだ、終わっていないコロナ感染と これから について

これまで、斜里町内では大きな感染被害はありませんでした。感染拡大にもならず、本当に良かったと思います。しかし、コロナは収束した訳ではありません。これからも、これまでになかったルールで、動いていかなければなりません。

だからと言って、何もできない訳ではなりません。

少しずつですが、感染リスクを減らしながらの取り組みが始まっています。

そして、議会も。

議会としてやるべきことは、コロナだから・・・やめよう・・・ではありません。

そして、町にとっても産業には大きな打撃が出ています。そのために、町として何ができるのか？

そのやるべきことに、議会も集中していくべき時です。

この3ヶ月、議会はどう動いていたのか？

皆さんに、私の視点でお伝えします。



フランスギク

マーガレットと呼ばれますが種類は違います。これも、外来種です。繁殖力が強いので知床でも、いたるところに。我が家でも庭に咲いています。こちらもきれいで可愛いですね。

斜里町のコロナ対策！・・・誰のために なんのために？

全国で、人の動きが止まりました。北海道は、さらに早くから緊急事態宣言を実施していたので、その動きが止まった期間は長かったです。そして、その止まった動きは、自粛緩和、自粛解除と言われても、なかなか元には戻りません。そして、首都圏ではまた、感染者が増えています。

飲食店・宿泊事業だけでなく、さまざまなところで、事業実績はマイナスになっています。

事業を商売を続けて行ってもらうために、国ばかりでなく町も町内事業者に対して支援策を出しています。

- 営業・団体の下水道料金を3ヶ月分免除します
- 前年よりも売り上げの落ちた事業者に給付金（国の持続化給付金条件外の事業者）
- 飲食店・宿泊を応援するために50%プレミアム券の発行（レポートが届く頃には発売？）
- 10月から値上げする給食費を、3月まで値上げ分据え置き

他にも、いくつかの取り組みがあります。

この財源は、国のコロナ対策での交付金で実施されます。

6月以降も、この交付金を使いながら

大きくダメージを受けた事業者の方々を中心に対応が取られるはずです。

特に、観光の中心であるウトロ地域では、宿泊・飲食・ガイド・観光船など大きな落ち込みになっています。

北海道も「どうみん割」などで力を入れていますが、なかなかウトロ地域では思ったような配分ではないようで、地元の事業者さんは嘆いています。

たくさんの人が動いて、来て欲しい。しかし、コロナ感染が広がったら？

しかも、感染拡大対策は、お金や、資材、人手もかかります。

現場は、皆さん、本当に大変です。

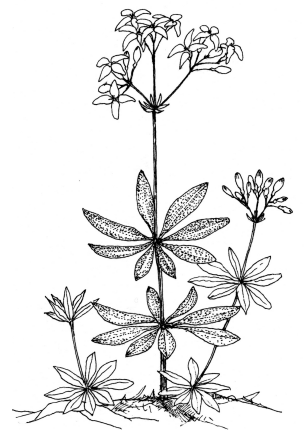
町のコロナ対策は、こうした直接、被害を受けている事業者へきめ細かな対応をしていくべきだと思います。



クルマユリ

どちらも車を名前に持っています。季節の中で、あっという間に花の時期がすぎます。コロナもこうして過ぎてくれないだろうか・・・

クルマバソウ



今回も いろんなつもりで・・・
ひとつめ 一般質問！

コロナで商工観光事業者が、大変な状況になっています。

しかし、町では大まかにしか全体の状況や、地域、職種の状況把握をしっかりと取れていません。

今後、さらにそうした事業者の状況や業種の実態を含めて、把握できなければ、町長の言うように「総合的に勘案し、検討します」と言う対策はできないのではないのでしょうか？

事業者は法人350と個人350くらいだと推定しています。

町の三本柱の産業というのなら、その状況や、事業の形態・業種などの数字などもしっかり抑えておくのが行政の役割ではないですか？

●前回の議会レポートでも書きましたが・・・
コロナ感染とは別に、斜里町の財政はなかなか厳しい状況です。今回、多くの事業者の方々が大きな売り上げダウンという事は、町の税収は大きく減るでしょう。

町内の事業者を守らなければ！

商工会・観光協会に加入していない事業者の状況把握は難しいと考えている。

それで、本当に困っている事業者に対して対応ができるのでしょうか？

町長のイラストはさすがに描けないので・・・ピクトグラムで。

○5月の招集会議では

緊急的にコロナ感染防止対策関係の事業を実施。
でも、その頃は先が見えない読めない中での事業でした。

◎オロンコ岩駐車場の駐車料金を6月31日まで無料にしましたが・・・ご承知のように五月連休は、自粛要請の厳しいなかで、この事業は活かされませんでした。

◎小規模事業者緊急経営支援事業（4000万円）は、国の持続化給付金の対象にならない事業者に給付する事業でしたが、その後の事業落ち込みが50%になるところが増えたからか？対象が90件ほどと予想していましたが、申請件数が少なく、今後、内容を見直すそうです。

◎公共交通事業支援（415万円）採算の取れない路線バスの便数確保など

5363万円のコロナ関係の補正を行いました。

その事業の実施や状況はどうか？

状況が目まぐるしく変化しています。
所管委員会では、この点について5月22日にその後の状況説明を要請。

今後の、事業の方向性についても委員会として説明を受けました。
「やりっぱなし？」が多い議会活動が、少し変わったかなと思います。



○6月の定例会議では

5月の補正予算から、さらに落ち込んだ経営対策に予算が組まれました。

◎町民特別宿泊飲食券等発行事業（2,000万円）1万円で1万5千円分の宿泊と飲食券です！

町民限定ですが、他町村では、町外者向けの宿泊券なども発行しています。

知床ウトロだったら利用は多いかもしれません。
検討して欲しいですね。

◎営業・団体の下水道料金を3ヶ月分免除

◎スクールバスで「密集を避けるために」（229万円）

◎町民特産品ギフト販売促進事業（500万円）一社知床しゃりへギフトセットの企画作成販売などを委託して、町で生産された製品の販売促進をするそうです。

6919万円のコロナ関係の補正を行いました。

もう少しスピード感が欲しいかも

宿泊・飲食券は7月20日発売予定だそうです。
特産品ギフトは10月頃だそうです。

網走市や他の自治体の取り組みなどを見ると、やはり日頃からのデーター収集や事業者のデーター収集は、必要だと改めて思いました。

事業が続けられるように
事業者と、そして行政は
知恵を出して、乗り切らなくては！



そのほかの
補正予算事業
一部です

○ウトロ香川道路の改修工事が
始まりました。狭かった歩道など、安全対応で改修が進んでいます。

○ウトロでは足りなかった
教員住宅が、1棟4戸
建設されます。

○埋蔵文化財の収蔵施設が、旧
以久科小学校へ移転されます。
現在の建物は撤去されます。

議会ではリモート会議を設定できるのか？

議員全員にタブレットが貸与されて半年以上が立ちましたが、どれくらい活用されているのでしょうか？

例えば、委員会の議事録も、資料もタブレットで配信されていますが、活用には慣れない方がいる現状です。そのために情報の共有ができていなくて、委員会での話が噛み合わず？こんなに大変な時なのに、せっかく開催の委員会前回話し合ったことの確認で終わったり。委員会での議事進行も曖昧な状態です。こんな状態で、リモート会議なんて、程遠いなあと感じています。情報共有が必要で導入されたタブレットです。*リモート会議とは 電話回線やネットを利用の会議。Web・テレビ・電話などのシステムがあります。

報告事項とか、企画の説明とか
それは、リモート会議で十分かもしれない

4月頃から、私の関わる関係の、いくつかの会議がリモート会議で行われました。

意見もしっかり言えますし、それに対しての協議などもできました。よくありがちな、議題からずれるようなこともないし・・・何よりも効率的でした。もちろん、直接顔を見ながらでなければできない会議もあるでしょうが。



今回のコロナ禍で、議会の委員会がリモート会議が認められたそうです。

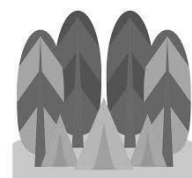
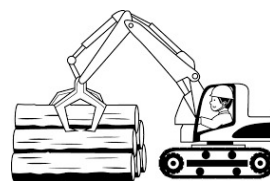
でも、できないと思う。

知床の森づくりの現状と課題 ずっとこれからも続いていくのだから 考えよう

知床の離農した農地を、開発から守るために町が買い取り、その土地を森の姿に戻すための作業が、現在も行われています。運動当初、植えられた、植えられていたアカエゾマツ林は、木が大きくなって太陽の光が届かない暗く密な人工植林地になっています。そのアカエゾマツの間伐が始まっています。

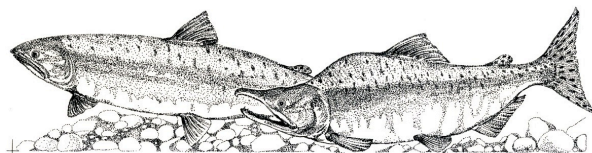
その間伐した木材となったアカエゾマツは、運動地にそのまま置かれています。すごい量の木材として。置きっ放し・・・です。木材を持ち出すことができない「決まり」があるからです。

これからも、ずっと作業を継続していく中で、持続可能な取り組みが必要となるのでは？みなさんから託された、自然の森に復元するためには、こうした課題を解決することが必要です。柔軟な対応とスピード感を持って、これからの長い活動の方向性を再検討するときではないでしょうか？



●決まりとは 持ち出さない・持ち込まない という原則です。

そもそも、今回間伐したアカエゾマツの苗は植林用で持ち込んだもの。そしてとても大きく成長しています。木材として売り払って運び出し、その売り払い収入で、さらに作業を続けることができるはず。森は多様性だからこそ持続可能なサイクルが生まれるはず。



最近のこと・・・思うこと・・・

●先が読めない中で・・・なかなか・・・移動できない、移動しにくい・・・困った世の中です

3ヶ月前はコロナ感染の恐怖の中で息を詰めていました。多くの行事や予定がなくなりました。そして、自粛や移動が解除になりましたが、なぜ？感染者が減ったのか？そして、いま、首都圏では感染者が多い状況。どうすることが、どうなることが、コロナウイルスの感染収束・終息になるのでしょうか？それでも、町での暮らしや生活は続いて行きます。

●町も、やはり先が見えない中で さまざまな対応を打ち出しています。

そんな中であっても、なんとか町の事業者の方々を守って欲しいです。持ち直してきたし、人も動いてきたから大丈夫じゃない？なんて言えないほど大きなダメージを受けています。

特に観光関係は深刻です。観光とはとても多様な事業の総合体です。これまで築いてきた「知床という観光」をどうやって守るのか。それは、行政の役割だと思います。

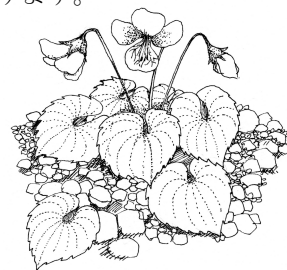
事業者は必死で頑張っています。

そして、この町に暮らす私は、少し外食を増やして、7月20日に販売される宿泊・飲食券を使って消費喚起に協力します。今年の夏は、遠くに住んでいる小さな孫たちも来ません（涙）いつ会えるかなあと思いながら、釧路の母と一緒に近くをドライブして楽しみます。

確かに、自粛期間にはこれまでできなかった庭の手入れや片付けなどができました。

遠くまで出かけていた会議もリモート会議で済むようになっています。「新しい生活様式・自分流」

議会議員の役割は変わりませんが、生活、暮らしは・多分、これから変わって行きそうですね。



たいへんお届けが遅くなり 申しわけありませんでした。

*とても久々に7月7日・知床硫黄山に登って来ました！

ツイッターとフェイスブック で ほぼ毎日・情報発信しています
桜井あけみ か、SAKURAI AKEMIで検索してください。

- 議会レポートをブログの方に掲載します。
 - 桜井あけみ「ふつつ」の生活 で検索しても出て来ます
 - <http://akemiburogu.sblo.jp/> コメントを待っています。
- 「桜井あけみ後援会」活動報告書 099-4351 斜里町ウトロ香川104



メールアドレスは
koe@akemichan.net
携帯からのメールは、こちらからの返信が届かないこともあります。ご了承ください。

文中の誤字脱字については、お許しください。ごめんなさい・・・